

デーリー東北

2025年(令和7年)2月1日(土曜日) (13)

社会人働き方のリアルは



青森県内企業で働く先輩社員（左手前）から仕事について聞く八戸工業大の学生たち（右側）

八戸工業大の女子学生と青森県内企業で働く先輩女性社員の座談会が28日、同大メディアセンターで開かれた。4社から20代のOG5人が訪れ、それぞれのテーブルで自身の就職活動や現在の仕事内容などを説明。学生約30人も質問を投げかけ、「働き方のリアル」を学んだ。県内の産学官でつくる「おもりの人材育成・県内定着促進協議会」の事業の一環として県が主催。同大が企画や運営を担った。

八工大の女子学生と先輩社員が座談会

同大教育・学生支援部キャリア支援チームの佐々木綾子さんは「学生は同じ大学の卒業生なら話を聞きやすいだろう。さまざまなきっかけを得て、自分の選択肢を広げる機会にしてほしい」と狙いを語る。

OGの業種は食品加工や機械設備メンテナンス、ハウスメーカーなどさまざま。学生たちは25分区切りでテーブルを回り、会社を選んだ理由や働く上で心がけることなどを尋ね、先輩の言葉に耳を傾けていた。

感性デザイン学科3年の小野里菜さん(仮)は「普段のルーティンなどリアルな仕事の話聞くことができた。先輩が同じ目線で接してくれたので話しやすかった」と笑顔。

プライフーズで製造管理職を担う関川凜さん(仮)は「今日の座談会が、先輩たちが自分に合った仕事を見付けるきっかけになれば」と話した。

(上條哲洋)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。